

オンライン訪問診療車が来春運行を始めます！

市では、令和6年3月にオンライン訪問診療車を導入します。

○オンライン訪問診療車ってどんな車？

遠隔診療（オンライン診療）ができる機材を搭載した車です。

通院困難な患者さんの自宅付近に出向き、車内でビデオ通話を使用したオンライン診療を行います。

車の中には診察用のベッドや、オンライン診療を補助する医療機器（超音波、心電図など）も搭載し、看護師などの医療スタッフが同乗して、診察の介助や、医師の指示による検査などを車内で

行います。

車いすが乗り込めるリフトも付きます。

市立牧丘病院の在宅診療で活用する予定です。

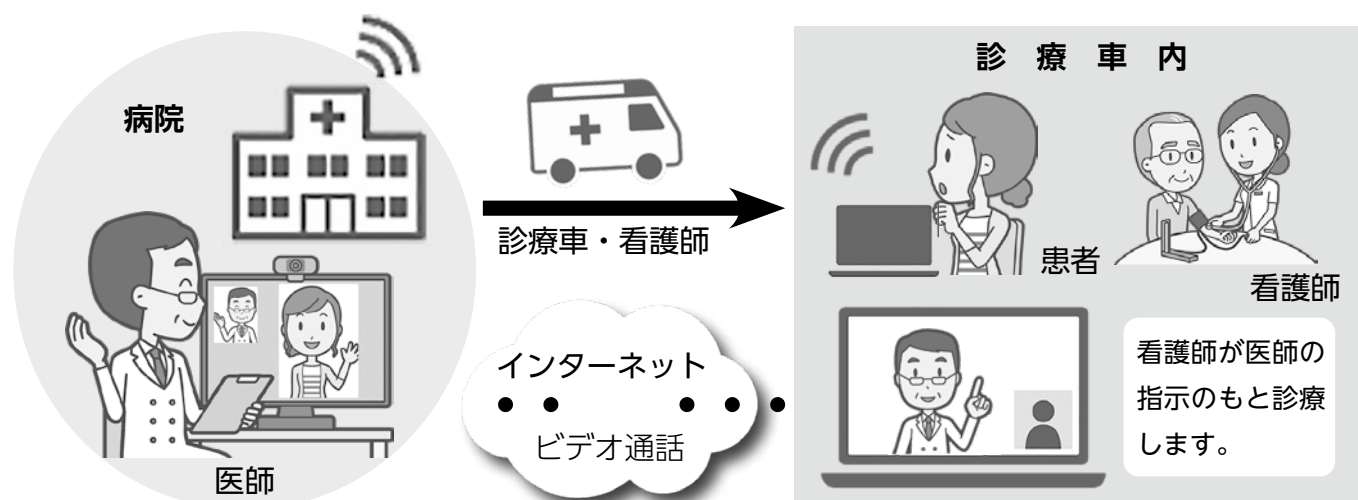
○オンライン訪問診療車はどんなことができるの？

①医師は病院、患者は自宅にしながらオンライン診療を行います。

オンライン診療を行う機材が自宅になくても、車がご自宅に何うことで、医療スタッフの支援を受けながらオンライン診療を行うことができます。

②診療以外の健康相談にも活用します。

③災害時の移動診療所として活用します。



◆ オンライン診療イメージ図 ◆

募集

オンライン訪問診療車の愛称募集と
車両のラッピングデザインの投票を行います！

応募期間：12/20 (水)まで

応募資格：山梨市民、市内在勤・在学の人

応募方法：応募用紙（郵送・持参 応募用紙は広報と一緒に配布したもの。健康増進課にもあります。）

インターネットから（<https://logoform.jp/form/bReG/326715>）

内容：①オンライン診療車の愛称募集

②オンライン診療車のデザインを以下の①～③のいずれかを投票してください。

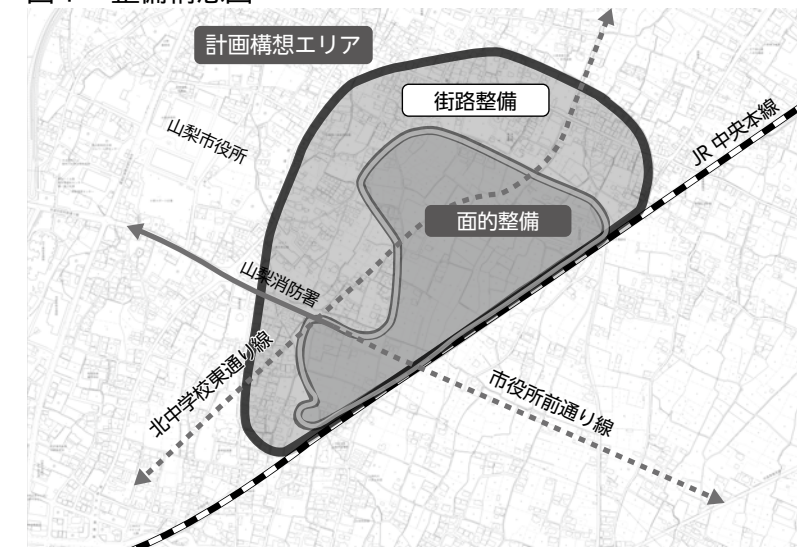


問い合わせ：健康増進課健康企画担当 内線 1163

特集 アザレアタウンのいまとみらい



図1 整備構想図



①アザレアタウンの現状

アザレアタウンは、山梨市駅と東山梨駅の間に位置する地域です。山梨市の中心市街地に位置しており、市役所や商業施設・総合病院などが徒歩圏内にある利活用すべき大変重要な拠点です。そのため、地域からは宅地を始めとした有効な土地利用を望む声が昭和の時代からありましたが、整備はなかなか前に進まず、大きな課題として今日に至っています。

地域の中は4m未満の狭い道路が大半であり、一部を除いて下水道の整備がされていません。公園などの公共用地も少なく、一般的な市街地と比べ、公共用地の比率が非常に低くなっています。一方、山梨市都市計画マスタープランや立地適正化計画においては、山梨市駅前の中心拠点を補完する副次拠点として、計画的に整備する地域に位置づけられています。

②これまでの取り組み

平成30年度にアザレアタウン地区の開発の機運を高めるとともに、まちづくりに地域の声を反映させ、実現方策の検討をするために小原西・小原東・上神内川・上石森の有志を中心に「アザレアタウンまちづくりの会」が設立されました。

令和2年度に、このまちづくりの会から、「整備にかかる要望書」が提出され、市では整備構想を作成しました。この整備構想では、土地区画整理事業、街路整備事業、狭あい道路整備事業の3つの事業を軸として整備を進めていくこととしています。

その後土地区画整理事業の実現に向けて、令和4年10月に区画整理事業を行う区域の地権者を中心に「アザレアタウン重点地区準備委員会」が設立されました。準備委員会では、事業プランを作成し地権者説明会を行ってきました。今は事業化に向けて、事業プランを基に事業計画を策定しています。

③今後の進め方

今後、土地区画整理事業については令和6年度の組合設立を目指し、地権者の皆様と取り組んでいきます。併せて市では、令和7年度から都市計画道路北中学校東通り線の街路事業や区画整理区域内の都市公園の整備事業などについても取り組んでいきます。

図2 整備計画図



市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

図都市計画課まちづくり推進室 内線 2244